

Information

2021 年度

看護プロフェッショナルプログラム

●最新セルフケアプログラム——

患者・家族・同僚のメンタルヘルス
と看護介入技法

日程▶5月1日, 7月3日, 8月7日, 11月13日, 12月25日, 2022年1月29日, 2月19日, 3月26日 (全8回, いずれも土曜日), 10~12時

内容▶COVID-19 禍の患者・家族・スタッフの回復を早期に促す最新セルフケアプログラムの概要, 医療現場や地域ケアにおいて, どうセルフケアプログラムを用いるのか, セルフケアプログラムをより効果的に展開するための組織・集団・地域調整と介入について学習する。

対象▶看護師経験3年以上, 専門看護師(CNS), 高度実践看護師(APN), Nurse Practitioner, 看護管理者, 看護系大学院生も可。患者・家族からの相談, 同僚・部下の育成, スタッフのかかわり方と人材育成に関心のある方。

●ハイリスク慢性疾患患者への

最新セルフケアプログラムから PAS
セルフケアセラピー——

ケア困難患者への看護介入技法

日程▶5月1日, 7月3日, 8月7日, 11月13日, 12月25日, 2022年1月29日, 2月19日, 3月26日 (全8回, いずれも土曜日), 13~15時

内容▶心不全や悪性腫瘍・脳血管疾患や糖尿病などの五大疾患の重症化, 行動化や自傷行為, 自殺企図, 身体疾患でうつ・不安を有する患者, 認知症やせん妄を有する患者の再入院や再燃 (ハイリスク慢性疾患患者と呼ぶ) は看護職のケアを困難にさせている。ここではケア困難患者への最新セルフケアプログラムと PAS セルフケアセラピー (PAS-SCT) について事例をもとに学習する。

対象▶看護師経験3年以上, CNS, APN, Nurse Practitioner, 看護管理者, 看護系大学院生も可。自分の受け持ち患者と家族, 部下・同僚・スタッフへのかかわり方, 患者の地域生活促進や慢性化防止に関心をもっている方。

【以下共通】

受講方法▶対面, オンライン配信の予定

講師▶宇佐美しおり (四天王寺大学)

お問い合わせ・申込先▶PAS 心理教育研究所

☎ FAX 03-6407-8201

✉ pas@pas-ins.com

<https://bit.ly/3aID82j>

第 95 回日本感染症学会 学術講演会/第 69 回 日本化学療法学会総会 合同学会 (現地開催 + Web 配信)

日程▶5月7日(金)~9日(日)

会場▶パシフィコ横浜会議センター (横浜市)

テーマ▶知識と智慧の集結—大きな輪(和)で挑む感染症の課題

プログラム▶会長講演 藤田次郎 (琉球大学), 松本哲哉 (国際医療福祉大学)/招請講演①「新型コロナウイルス感染症危機対応 (仮)」武見敬三 (参議院議員)/②「古くて新しいイベルメクチン物語」大村智 (北里大学)/特別講演①「COVID-19 との対峙—私たちの経験と英知を結集して」館田一博 (東邦大学)/②「感染症・化学療法において私が歩んできた道とこれから」松本哲哉/③「抗菌薬の安定供給の課題」清田浩 (井口腎泌尿器科・内科)/シンポジウム①「世界3大感染症 (エイズ, 結核, マラリア) の潜在性感染症」湯永博之 (国立国際医療研究センター) ほか/②「新型コロナウイルス感染症の診断法の新知見」青木弘太郎 (東邦大学) ほか/③「特殊病態下での抗菌薬の適正使用」山下千鶴 (藤田医科大学) ほか/④「抗菌薬の安定供給の現状, 課題, 対応について」松本哲哉 (日本化学療法学会)/⑤「新しい抗微生物薬の開発状況と実現性」大曲貴夫 (国立国際医療研究センター) ほか/⑥「気づかぬところに拡散する耐性菌, One Health アプローチから再考する」武内真佐美 (国際連合)/⑦「耐性菌感染症による国内の医療経済への影響—科学的データに基づく検証」赤沢学 (明治薬科大学) ほか/⑧「新型コロナウイルス感染症の治療と予防の Up to date」山岡邦宏 (北里大学) ほか/⑨

「AST における各職種の役割—AST 加算開始でみえてきたこと」丹羽隆 (岐阜大学医学部附属病院) ほか/⑩「外来診療における抗菌薬の適正使用の推進」廣瀬皓己 (ライファ) ほか/⑪「臓器横断診療による感染症専門医育成と専門診療の質保証」谷口俊文 (千葉大学医学部附属病院) ほか/⑫「変貌する我が国の性感染症の現況」大西真 (国立感染症研究所) ほか/⑬「未知の感染症への公衆衛生対応はどのように戦略的に行われるべきか」杉下由行 (東京都福祉保健局) ほか/⑭「スポーツイベントに関するシンポジウム」三鴨廣繁 (愛知医科大学) ほか/⑮「日本における『マシガザリングと感染症』」和田耕治 (国際医療福祉大学) ほか/⑯「with コロナ時代の災害時感染対策」加来浩器 (防衛医科大学校) ほか/⑰「院内感染対策が必要なインバウンド感染症」小松崎直美 (順天堂大学) ほか/⑱「抗菌薬 TDM ガイドラインの改訂内容と今後の課題」松元一明 (慶應義塾大学) ほか/⑲「臨床家のための基礎研究 Up to Date」金城雄樹 (東京慈恵会医科大学) ほか/⑳「新たな検査法の導入は感染症診療をどう変えるか?」豊川真弘 (福島県立医科大学)/招聘講演/教育講演/Meet the Expert/若手向け講習会/ほか

問い合わせ先▶運営事務局

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10
住友成泉小石川ビル6階 サンプラネット
メディカルコンベンション事業部内

☎ 03-5940-2614

FAX 03-3942-6396

✉ jaid95-jsc69@sunpla-mcv.com

<http://jaid95-jsc69.umin.jp/index.html>

第 30 回日本新生児看護学会 学術集会 (Web 開催)

日程▶5月8日(土)~9日(日)

テーマ▶新生児看護の未来を語ろう

問い合わせ先▶運営事務局

〒060-0005 北海道札幌市中央区北5条
西5丁目2-12 住友生命札幌ビル コン
グレ北海道支社内

☎ 011-233-0005

FAX 011-233-0035

✉ jann2020@congre.co.jp

<http://www.congre.co.jp/jann2020/index.html>

第23回日本母性看護学会 学術集会 (Web 開催)

日程▶[ライブ配信] 5月22日(土), [オンデマンド配信] 6月1日(火)~6月30日(水)

テーマ▶次代へと命をつなぐ確かなケア—新たな社会生活への挑戦

プログラム▶会長講演「次代へと命をつなぐ確かなケアが未来を拓く」石井邦子(千葉県立保健医療大学)／特別講演「ニューノーマル時代に看護職に求められる力」大田えりか(聖路加国際大学)／CNS鼎談「日本看護協会長と語るウイメンズヘルス領域の高度看護実践の未来像」福井トシ子(日本看護協会)ほか／シンポジウム「新たな社会生活における命をつなぐ確かなケア—その変革と継承」重見大介(Kids Public 産婦人科オンライン)ほか／教育講演①「周産期メンタルヘルスケアの展望と看護職への期待」渡邊博幸(木村病院)／②「女性への暴力がもたらす影響」中島幸子(レジリエンス)／③「助産師現任教育における成人学習論と経験学習の活用」鈴木康美(埼玉県立大学)／④「再発防止の視点から診る常位胎盤早期剥離のケア再考」鈴木真(亀田総合病院)／一般演題

参加費▶[第Ⅰ期登録] 会員 7000 円, 非会員 9000 円, [第Ⅱ期登録] 会員 9000 円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 2000 円

参加登録期間▶[第Ⅰ期登録]~4月10日(土), [第Ⅱ期登録] 4月11日(日)~5月7日(金)

参加登録方法▶下記 URL の参加登録フォームより

<https://jbeapps.com/reg-jsmn23/shoppingcart/select/jsmn23>

問い合わせ先▶事務局

〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉 2 丁目 10-1 千葉県立保健医療大学内(担当: 川城由紀子)

✉ secretariat@jsmn23.jp

第24回日本臨床救急医学会 総会・学術集会 (Web 配信)

日程▶6月10日(木)~12日(土)

テーマ▶みんなで挑戦! 救急医療

問い合わせ先▶運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 14 階 日本コンベンションサービス内

✉ jsem24@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jsem24/>

日本小児看護学会 第31回学術集会 (Web 開催)

日程▶[ライブ配信] 6月26日(土)~27日(日), [オンデマンド配信] 7月1日(木)~18日(日)

テーマ▶コラボレーションで小児看護の未来を拓く

プログラム▶会長講演「臨床と教育とのコラボレーション—小児専門病院の実践へのセルフケア理論の導入と活用」添田啓子(埼玉県立大学)／特別講演「みんなと地域でイノベーション—医療的ケア児・家族の笑顔のために」黒木健太(フローレンス)／教育講演「臨床からの発信を研究に—事例研究で看護がつながる」山本則子(東京大学)／シンポジウム「子どもの“生きる”を支えるケア—新しい発想での多職種・他分野とのコラボレーション」松岡真里(京都大学), 小澤竹俊(めぐみ在宅クリニック), 久保田一男・鈴木美(難病患者を支援する会), 松下博宜(東京情報大学)／テーマセッション, 一般演題発表など

参加費▶[事前登録] 会員 1 万円, 非会員 1 万 2000 円, 学生 3000 円

参加登録期間▶[第1次]~5月25日(火), [第2次] 5月26日(水)~6月14日(月), [第3次] 6月15日(火)~7月4日(日)

参加登録方法▶下記 URL の事前参加登録フォームより

https://makuhari.jp-pay.jp/entry_input.php?PHPSESSID=pgf9tucpp589u68lo8b2lkrkum

問い合わせ先▶運営事務局

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬

2-1 幕張メッセ事業企画課内

☎ 043-296-0623

FAX 043-296-0529

✉ info@jschn31.jp

<https://www.jschn31.jp/index.html>

*掲載している情報は3月4日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。